

慶應義塾大学病院で

# 多血小板血漿外来 (PRP 外来)

が始まりました。

PRP療法は、自己血液を遠心分離して  
血小板や生理活性物質(サイトカイン)を多く含む分画を  
組織修復、抗炎症を目的に患部に注入する治療です。

組成がまちまちで投与する側もされる側も  
中身(血小板やサイトカインなどの量)が分からないという  
従来のPRPの問題を解決すべく、  
アディポシーズ社との技術協力により、  
これまでと異なる遠心分離法で作製したPRPを  
患者さまにお届けします。



PLATELET  
RICH  
PLASMA

## 私たちのPRPの特徴

- ① 既存PRPよりも血小板回収率(濃縮率)がはるかに高い
- ② 「中身(血小板やサイトカインなどの量)の分かる」安心なPRP

## 本治療の対象となる患者さま

スポーツによる関節・靱帯・筋肉・腱の損傷や炎症  
加齢による関節痛(変形性膝関節症など)

※効果には個人差があります

お問い合わせ先

外来予約窓口 03-5363-3858

詳細はWebサイトをご覧ください

慶應義塾大学病院 スポーツ&メディカルフィットネスセンター  
<https://bldg3y.hosp.keio.ac.jp/sports/>

